

図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉 おしらせ No. 217

2023・01・18

元日や 上々吉の 浅黄空

——茶——

2023 年がはじまりました。

今年はいざぎ年。

跳ねて

踊って

楽しさあふれる

そんな一年になるといいですね。

今年もよろしくお願いいたします。

○ CONTENTS ○

PAGE

☆ あけましておめでとうございます 中央図書館長 栗原章郎	…1
☆ 2022 年度活動報告・2023 年度活動計画(案)	…2
☆ 読書会、おはなしひこうせん、朗読会、間島の会の年間報告	…3
☆ 令和 4 年度第 2 回図書館協議会を傍聴して	…4
☆ 嶋田学さん講演会「市民のための図書館づくり」は有意義でした	…5
☆ 第 24 回 かまくら市民活動フェスティバル参加報告	…6
☆ 西鎌倉ぽけおはなし会報告 徳永麻紀	…7
☆ 松尾市長より市史編纂要望について「回答書」が届きました	
☆ 松坡先生をめぐる人々 10 有島生馬 袴田潤一	…8
☆ 映画と本と図書館と／かまくら銀幕上映会のお知らせ	…9
☆ F☆Lご案内、実行委員会報告／「図書館振興基金」へ寄付	…10
☆ 総会のお知らせ/会費納入のお願い	…11
☆ 2022 年度ご寄付くださった方々/活動日誌	
☆ 事務局から	…12

あけましておめでとうございます。

鎌倉市中央図書館長 栗原章郎

令和 5 年の年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。「図書館とともだち・鎌倉」の皆様におかれましては、おかわりなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から図書館の運営に多大なるご支援をいただいておりますことを心から感謝申し上げます。

コロナ禍では、図書館でも様々なイベントが中止や縮小に追い込まれましたが、昨年は図書館におけるおはなし会を再開し、お子さんの笑顔に再び接することができました。また暫定的に資料の貸出点数の上限撤廃をしたことで、コロナ禍以前を超える勢いで貸出し件数が伸びるなど、良い方向に動きつつあると実感しています。

そして本年の図書館の取組みですが、ファンタスティック☆ライブラリーや生涯学習センターでの写真展、写真記録集刊行をスタートに、様々な事業を皆様のご協力を得ながら進めてまいりたいと考えております。

また、より良い図書館サービスを提供していくための第 4 次鎌倉市図書館サービス計画、子どもたちが本に親しむ環境を整えるための第 4 次子ども読書活動推進計画の策定を進めています。さらに深沢図書館の移転及び新中央図書館の整備については大きな節目を迎える年ともなります。

「図書館とともだち・鎌倉」の皆様には、本年も変わらぬお力添えをお願いするとともに、会の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



栗原章郎 鎌倉市中央図書館長

2022 年度活動報告

<重点事業>

- ① 専門職としての司書の正規職員新規採用に向けた取り組み
- ② 読書バリアフリー法をふまえた図書館の障がい者サービスに向けた取り組み
- ③ 図書館振興基金の活用に関する取り組み
- ④ 図書館長、図書館職員、図書館協議会委員、教育委員、社会教育委員との懇談
- ⑤ 旧図書館保全活動
- ⑥ ファンタスティック☆ライブラリーへの企画・参加
- ⑦ NPO フェスティバル、地下道ギャラリー展、その他イベントへの参加
- ⑧ 図書館司書の専門性を幅広く理解してもらうための活動

2021 年末、落ち着いてきた COVID-19 でしたが、新しいオミクロン株の感染が拡大し、蔓延防止等重点措置が取られた為、「2021 年度会員総会」は 1 月の予定を 3 月 13 日（日）に延期しました。①司書の正規職員採用に向けた取り組みは

皆様の署名のご協力のおかげで議会でも採択され、30 年ぶりに専門職としての新規採用が実現の運びとなりました。②読書バリアフリー法をふまえた図書館の障がい者サービスに向けては NPO フェスティバルにおいて読書バリアフリー法の紹介や図書館の役割についての展示とおはなし会をしました。③図書館振興基金の活用に関する取り組みは図書館協議会でも取り上げられました。適切に判断して活用されるよう望みます。④図書館長、図書館職員、図書館協議会委員、教育委員、社会教育委員との懇談は 5 月に中央図書館長と館長補佐、6 月に教育文化財部長と中央図書館長と懇談することができました。⑤旧図書館保全活動については現状と今後について「市長への手紙」という形で質問及び要望を提出したところ、丁寧な回答をいただきました。⑥ファンタスティック☆ライブラリー110 に参加。昨年同様 5 館全館での巡回展示、図書館の HP 掲載と YouTube の配信となりました。⑦NPO フェスティバルは 3 か所で行われ、TOTOMO は鎌倉生涯学習センターにて展示とおはなし会を行いました。また地下道ギャラリー展にも参加しました。⑧は総会において話し合われた事業です。12 月に図書館主催の講演会に参加しました。

2023 年度活動計画(案)

<重点事業>

- ① 市庁舎移転に伴う図書館のこれからを考える活動
- ② 司書採用の継続の見守りと図書館司書の専門性を幅広く理解してもらうための活動
- ③ 読書バリアフリー法をふまえた図書館の障がい者サービスに向けた取り組み
- ④ 旧図書館保全活動
- ⑤ ファンタスティック☆ライブラリーへの企画・参加
- ⑥ NPO フェスティバル、地下道ギャラリー展、その他イベントへの参加

TOTOMO は今年発足 25 周年を迎えます。2023 年度活動計画(案)の重点事業として 6 項目を掲げました。③については 2023 年 2 月 4 日（土）のファンタスティック☆ライブラリーの展示とおはなし会で取り組む予定です。まだ COVID-19 の影響下ではありますが、とにかくできる範囲で活動してい

きたいと思っています。皆様からのご意見ご感想は私たちにとってたいへん励みとなっています。本年もご協力くださいますようどうぞよろしくお願いいたします。

☆読書会 報告～読書と読書会の愉しみ!! ☆



2004年2月6日金縷著『それでも私は旅に出る』から始まった読書会は、昨年10月28日に、なんと「100回」を迎えた。3冊の本を読んだ時もあり読了冊数は不明だが、2冊を課題書として、2か月に1度開催している。都合で読めなかった時も参加し、話に加わる。本は私たちをどこへでも導いていくし、その発展が楽しい。皆さんの感想は人柄を表し、深い読み方に教えられ、共感もし、反論もする。次回の本は皆で提案するが、未知の著者の本を手にするのは、読書会ならではの醍醐味。コロナ禍以前は、美味しいお茶を片手の1時間半だった。覗いてみてください、歓迎します。(曾原糸子)

☆おはなしひろくせん 報告☆



コロナ禍も3年目、感染対策は続けながらもウイズコロナの時代になり、おはなし会の依頼が多くなりました。子育てサロン西鎌倉ぽっけで3回、二階堂子育てサロンで1回、また西鎌倉社協の高齢者向けおしゃべりランチ会で2回のおはなし会を行いました。高齢者向けのおはなし会は初めての経験でしたので、いつもより緊張しましたが、皆さん温かく迎えてくださいました。F☆L(2月～3月)では、「あんな絵本・こんな絵本 in 鎌倉」をテーマに鎌倉ゆかりの絵本作家さんの作品をパネルで紹介。5月、遠足と称して、クレマチスの丘に堀内誠一絵本原画展を観に行き良い思い出となりました。6月、本の海サポーターズ交流会が行われ、手話による読み聞かせを体験しました。12月のNPOフェスティバルでは、「バリアフリー」をテーマにおはなし会を行い、次年度のF☆Lに繋がりました。(杉崎敦子)

☆ととも朗読の会 報告☆

毎月1回 保育園みつばちで、3～5歳児の30人程に 絵本読みをしています。(8月、9月は 感染症の心配から休止しました)

季節を感じられる、年少向けの本から始めます。4冊の絵本を聞いてくれる子ども達に感謝です。手遊びも楽しい時間です。笑顔に会える、絵本読みです。

定期発表会は開催しませんでした。



(中村都子)



☆間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会 報告☆

発足してまだ3年、隔月に例会を行っています。この一年は間島夫妻の「歌集」を読むことを活動目標の一つにしました。大正から昭和に至る鎌倉の情景が詠まれた和歌も多く興味深い内容です。また、秋には夫妻が大正の終わりに居住していた築地明石町の歴史散策を試みました。コロナが一時収まった5月に、愛子さんが教会籍を置いていた霊南坂教会をお訪ねし、明治から昭和の「教会報」など貴重な史料を見せて頂きました。少しずつですが、資料研究を進めています。(鈴木保美)

*** 令和 4 年度第 2 回図書館協議会を傍聴して ***

11月28日（月）於：鎌倉市中央図書館多目的室

半世紀ぶりに（！）新調された中央図書館多目的室のブラインドに感無量になりながら今年度2回目の協議会を傍聴しました。今回は報告も協議事項も盛りだくさんでしたのでいくつか厳選して報告します。全体の報告は図書館 HP にアップされる議事録でご確認ください。よろしくお願いします。

1. 国立国会図書館運営のポータルサイト「ジャパンサーチ」との連携なる！

「ジャパンサーチ」では、国内の博物館、大学、図書館等、現在 94 機関が連携しているとのことですが、神奈川県内の公共図書館としては鎌倉市図書館が先陣を切って連携を進めた由。

これも平素から資料の収集や整理作業がされているからこそ！とても嬉しいニュースでした。

2. 紙芝居「鎌倉玉縄のちょっと昔のお話し」出版なる！

玉縄図書館が編集協力した紙芝居の紹介がありました。地域のお年寄りからきいたお話が紙芝居に仕上げられ、その作品が図書館に寄贈され貴重な郷土資料として永年保存されることになります。

最寄りの図書館に、住民から信頼される司書がいればこそその快挙です。貸出用もありますのでぜひご活用ください。＜鎌倉むかし物語＞のホームページでデジタル版を見ることも出来ます。

<https://kamakura-mukashi.com/tamanawa-mukashi/>

3. 令和 5 年度に向けて 2 件の図書館振興基金活用事業が提案される！

提案事業は次の 2 つになります。

1. 『明治期～昭和期 古写真アルバム』の整理保存デジタル化事業（予算：約 672 万）

2. 『鎌倉古絵図』デジタル化事業（予算：約 20 万）

当然ながら、日頃の資料整理や調査研究があればこそできる提案と思います。図書館は決して「無料の貸本屋」などではなく、鎌倉の歴史文化を守り伝える大きな役割を担っていると実感します。

図書館のさらなる可能性に期待がふくらみます。

4. 「第 4 次図書館サービス計画」と「第 4 次子ども読書活動推進計画」に大注目！！

これら 2 つの素案は、未定稿ということで当日の配布はありませんでした。そのかわりに、2018～2022 年に実施された「第 3 次子ども読書活動推進計画の取組事業一覧」や「第 4 次鎌倉市図書館サービス計画」に向けてのアンケート結果報告書（令和 4 年 7 月～9 月実施）が配布されました。持ち帰って熟読し、詳細に記録された取組の成果や厳しい自己評価、今後にむけた市民の願いや図書館の課題がよく理解できました。紙数の関係で詳細をお知らせできないのが残念ですが、これらを踏まえれば次なる計画の骨子や内容は明確に見えてくる筈と確信します。



深沢地域への市庁舎移転に伴う＜深沢図書館の新庁舎内移転＞や＜市庁舎現在地への中央図書館移転＞は、111 年の歴史をもつ鎌倉の図書館にとっても数十年に一度の大事業になります。それにふさわしい「市民のための図書館づくり」に向け、鎌倉ならではの「図書館サービス計画」と「子ども読書活動推進計画」がしっかりと策定されるよう、TOTOMO も全力で意見発信に取り組んでいきたいと思っています。（阿曾千代子）

* 図書館では、現在「第 4 次鎌倉市図書館サービス計画(素案)」及び「第 4 次鎌倉市子ども読書活動推進計画(素案)」への市民からの意見（パブリックコメント）を募集しています。募集期間は 2023 年 1 月 26 日（木）まで。お問い合わせは鎌倉市深沢図書館 Tel.0467-48-0022 へ。各素案は図書館等で配布され、図書館 HP にもアップされています。

嶋田学さん講演会「市民のための図書館づくり」は有意義でした

2022年12月18日に市役所第3分庁舎で行われた図書館主催の「市民のための図書館づくり～鎌倉市図書館整備に向けた意見交換会～」に参加したので、その概要を報告します。

講師の嶋田学さんは大阪府豊中市で司書を務められ、滋賀県永源寺町立図書館(のちに市町村合併により東近江市立永源寺図書館となる)のオープンに携わり、2011年には岡山県瀬戸内市の新図書館建設に構想段階から取り組み、完成後館長を務められ、奈良大学教授を経て現在は京都橘大学で司書課程教授をされている方です。

今回の講演では、新しい図書館を市民参加で作上げたご自身の経験に基づいて「市民のための図書館づくり」とは何かというテーマでお話しされました。その内容はとても具体的で、しかもよく整理されていて説得力があり、とても参考になりました。ここでは鎌倉でも見習うべきと思ったことに重点を置いて紹介します。

まず永源寺図書館での図書館づくりについては、切実な課題に直面したときに市民と自治体職員に何が求められるのかという視点からお話しされ、行政には「市民との対話」、そのなかで発揮すべき「包容力と専門性」、市民活動活性化のための「企画力」などが求められるとし、市民には「コミュニティづくり」とそのための「話し合いのスキル」、そして課題解決に向けた「思考力」が必要だとされました。市町村合併という大きな課題に直面していたので、まちづくりに関心を持つ市民がいて「コミュニティづくり」に動き、職員も意識が変わったということでした。鎌倉市もいま市庁舎移転というまちづくりを左右するような課題に直面しており、行政力と市民力が試されていると思います。

次に、瀬戸内市での図書館づくりですが、図書館は「まちの広場」であり、「もちより、みつけ、わけあう広場」(略して「もみわ広場」)だというコンセプトを軸にして基本計画をつくった、「もちより」とは市民が「暮らし」「仕事」「学び」などの「必要」を図書館に持ち寄る、「みつけ」はこれらの「必要」に応えた図書館資料・情報・事業を見つける、「わけあう」は市民が相互にこうした機会を分け合う、そういう広場が図書館だというわけです。

このコンセプトに基づき「7つの指針」や「新図書館の基本方針」を作成し、シンポジウムの開催、市民参加のワークショップなどを実施して市民参加を促す。すると市民の主体的な動きが始まり、お話しボランティアによるブックイベント、財政的に厳しいという議会の声に対して募金活動をするなどの活動が生まれた。それが新館オープン後の図書館友の会「もみわフレンズ」の発足につながったということです。会員数は100名、会是は「協力と提言」、「ふるさとかるた」の制作や「まちの文化財の発見・発掘」などの協働事業を行ったということでした。

続けて「市民のための図書館とは」と「市民との協働がなぜ必要なのか」という、まとめのお話をされました。そのなかで、「大人こそが学べ、主体形成のための教養・知識を養える場」という図書館として当たり前の言葉に惹かれました。「社会教育」が「生涯学習」に名称変更され、大人が意識的、主体的に学べる場が後退している現実があるからです。生涯学習センターに指定管理者制度が導入された鎌倉市民にも響く言葉です。また市民協働の必要性についても「代表制民主主義だけでは課題解決が困難」であり、「市民の当事者意識」を醸成し、「行政の政策形成能力」を高める必要があること、そのためには「市民と行政がイメージを共有する」ことが大事と話されました。

講演後の質疑では、ワークショップを成功させる秘訣について、職員も一市民として参加し立場を超えて話し合えるような雰囲気をつくることと、ちゃんと喧嘩ができて、でも壊れない関係性をつくるのが大切だと話されたのが印象的でした。鎌倉市図書館整備についての意見交換はできませんでしたが、多くの有益なヒントが得られた講演会でした。

(和田安弘)

第24回 かまくら市民活動フェスティバル参加報告

12月10日(土)・11日(日) 於：鎌倉生涯学習センター

11月21日～27日にMUJI c o m鎌倉で、12月3日に鎌倉中央公園で行われたイベントに続き、12月10日と11日の両日、鎌倉生涯学習センターで登録団体のパネル展示を中心に、SDGsフォトコンテスト表彰式、ワークショップ、物販などが行われました。

このフェスティバルに先駆けて12月6日から1週間、鎌倉駅地下道ギャラリーで、宣伝を兼ねたポスター展が開かれ、TOTOMOもポスターを展示させていただきました。

学習センターでTOTOMOは、地下ギャラリーでのパネル展示とひこうせんによるおはなし会を行いました。改修工事やコロナ禍で、学習センターでの開催は久しぶりのことでした。MUJI c o m鎌倉では、市民活動やNPOセンターを知らない方に広く知っていただく機会になりましたが、学習センターでは旧知の方々と久しぶりに顔を合わせて、近況報告や活動へのお誘いなどあちらこちらで話に花が咲いていました。



展示パネル 左から「図書館とともだちになろう」「バリアフリーについて考えてみました」「間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会」

展示したパネルは3種類、一枚は「図書館とともだちになろう!」と題して、図書館でできることを紹介、二枚目は「読書バリアフリーについて考えてみました」と題して読書バリアフリー法の紹介や図書館の役割について紹介しました。そして「間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会」の研究の成果を三枚の

パネルで展示しました。パネルを前に、訪れた方々と話ができるフェスティバルは、TOTOMOの活動を知っていただく、またほかの団体の活動を知る、そして今後の活動につなげる上で大切な場だと改めて思いました。

10日午後に行われたひこうせんのおはなし会では、「バリアフリー」をテーマにした絵本や紙芝居を読みました。1階ロビーで行ったので、他の用事で訪れた方も足を止めて聞いてくださいました。テーマの影響か大人の参加が多いおはなし会となりました。「バリアフリー」は2022年のTOTOMOのテーマでもあり、ファンタスティック☆ライブラリー111にもつながり有意義でした。

MUJI c o m鎌倉、鎌倉中央公園、鎌倉生涯学習センターと3か所、長丁場で行われた今年のフェスティバル。私は、実行委員会から参加しましたが、コロナ禍で委員会がほとんどリモートで行われたり、初めてのことも多くスタッフの皆さんはご苦労も多かったと思います。実行委員の皆さま、センターのスタッフの皆さまほんとうにお疲れ様でした。

(杉崎敦子)



おはなしひこうせん おはなし会

西鎌倉ぽっけおはなし会報告

第10地区主任児童委員 徳永麻紀

おはなしひこうせんの皆さんの読み聞かせは子育てサロン、西鎌倉ぽっけのプログラムの一つです。コロナ禍ですので不本意ながら予約制にしておりますが枠がすぐにうまってしまいます。

会に来てくれる小さなお友だちは皆夢中になって目をキラキラ輝かせています。きっと絵本の中に自分の姿が見えているのでしょう。絵本の登場人物と向きあって会話をしているのでしょう。何て贅沢な何て可愛い世界でしょう。そんなわが子の姿を見つめるママパパたちは自然に笑顔になります。本を読んでもらって楽しい時間を過ごした経験がお有りなのですね？でもね。ひこうせんの皆さんは子どもたちだけではなくママとパパに向けても読んでくれているのですよ。サロンで読み聞かせに来られる機会がありましたら子どもに返って本を読んでもらいましょう。そんな想像の世界に遊ぶ時間を持ってもらえるようこれからも子育てサロンでは計画をしてみたいです。子どもが騒いでしまうかもしれない。泣いて迷惑をかけてしまうんじゃないかしら。そんな心配は無用です。不思議なくらい小さなお友だちはおはなしを聞いてくれていますし、もしそうでなくても私たちスタッフができるだけフォローさせていただきます。

子育てサロンは未就学のお子さまどなたにも広くお迎えする準備ができています。どうぞ気軽にお出かけください。そしておはなしひこうせんの皆さま。今後ともよろしくお願いします。



「鎌倉市制 100 周年記念事業として『新 鎌倉市史』を編纂することについて（要望）」 松尾市長より「回答書」がとどきました

昨年 11 月 25 日に松尾市長に手交した標記要望書への回答書が昨年暮れに届きましたので報告します。（参照：添付資料）

市長からの回答ではありますが、事務担当が「鎌倉市中央図書館近代史資料担当」と記述されていることに驚きました。

過去に発行された『鎌倉市史』『鎌倉市史 続編』の編さんは、何れも歴代の市長が発議し、首長部局の総務部総務課が事務局になって全庁的に進められてきた経緯があるからです。

回答書にも述べられているように、「市史編さん事業」は平成 24 年度より補助執行ということで総務部総務課より中央図書館に移管されました。充当される年間予算は約 10 万です。現在も近代史資料室担当職員（図書館業務との兼務）1 名と会計年度任用（非正規）職員やアルバイトによって市史編さんに附随する歴史的公文書選別やそのガイド

ライン、細目基準の作成が行われていることは当会も承知しています。

しかし、市史編さん事業が、図書館法が示す＜資料の収集・整理・保存・提供＞を任務とする中央図書館の近代史資料室のみで実施する行政課題でないことは明らかです。市史は現在だけでなく未来の市民のための歴史書でもあります。教育機関（教育委員会）のみならず、全庁的に担うべき事業であることを考えるならば、まずは首長部局総務部が牽引して横串の連携体制を整備するのが自然な流れではないでしょうか。

さらに、回答書では「市史編さんはおおよそ 10 年はかかる長期にわたる一大事業である」とも述べられています。松尾市長には、歴代市長にならい、市制 100 周年にむけた具体的な「はじめの一步」が一刻も早くふみだされるべく、先頭にたって取り組んで頂きますようお願いしています。（阿曾千代子）

松坡先生をめぐる人々 10 有島生馬

松坡文庫研究会 代表 袴田潤一

松坡先生が鎌倉に居を移して暫く後、明治末に鎌倉に「松社」という詩社が作られました。松社では松坡先生を指導者として月例詩会が開かれ、詠題が定められて詩を詠んだり、韻字を指定して詩を詠むことが行われました。更に松坡先生による漢詩の講読会が鎌倉や横浜などで定期的に開かれました。講筵^{こうえん}に連なったのは松社同人だけではありませんでした。有島生馬も鎌倉の松坡先生の自宅で開かれていた唐宋詩講読会に参加していました。

有島生馬（1882～1974 本名は壬生馬）は有島武郎を兄に、里見弴を弟に持つ洋画家・小説家です。

東京外国語学校卒業後藤島武二に師事し、1905年に渡欧、ローマで、パリで絵画・彫刻の修業をしました。後期印象派の作風に親しみ、1910年に帰国すると滞欧中の多くの作品を発表して若い画家たちに大きな刺激を与えました。一方、『白樺』の同人となり、日本最初の本格的なセザンヌ紹介の筆を執り、小説・評論・随筆などを精力的に発表しました。幼少期に由比ガ浜の父の別荘に住みましたが、大正9年に肺を病み、同年11月に医師の勧めに従って転地療養のため稲村ガ崎の新渡戸稲造の別荘に移転しました。更に翌年暮れに姥ヶ谷の「松の屋敷」と呼ばれる邸宅に移り、没年まで居住しました。

有島生馬に『海村』と題された散文集があります。1927（昭和2）年に改造社から出版された帙入り唐本仕立て上下巻二冊本で、題字が津田青楓、序詩が松坡先生によるものです。序詩は「題有島生馬君新著」という七言律詩で、第三、第四句には次のようにあります。

意匠超群新畫筆 意匠 群を超ゆ 新画筆
文章寄興老漁家 文章 興を寄す 老漁家
「老漁家」は美術・文学の幅広い領域で八面六臂

の活躍をする生馬を称えた表現です。昭和2年、生馬は46歳でしたが、「老」は「経験を積んだ」とか「物慣れた」ということを意味し、必ずしも年老いたということを表す語ではありません。

また、第七、八句、詩の結びには、

散髪風前繡快著 風前に散髪し 快著を繡く
依稀銀漢泛儂植 依稀たる銀漢 儂植^{せんさ}泛ぶ

第七句では髪を風に靡かせる颯爽たる生馬が著した、心が晴々するような著書を言い、第八句は仄かな天の川に仙人の筏（儂植）が揺らいでいるようだと言っています。仙人は世俗から離れ、山中などで暮らす人で、生馬の神々しいさまを表現しています。

生馬自身による『海村』の例言に松坡先生の序詩への謝辞があります。「巻頭に田邊松坡先生の題詩を掲げ得たことは深く光榮とする所である。鎌倉在住中先生の唐宋詩の講讀會に列席することを得た。その感謝を併せて茲に申述べたいのである。」

有島生馬が列席していた唐宋詩の講読会は松坡先生が『唐宋詩醇^{じゆん}』（乾隆勅命撰 全47巻）をテキストに自宅で開いていたもので、松坡先生の上村賣劍宛書簡（1927.2.25付）に拠れば、昭和2年の初めには終わっていたようです。生馬がいつから講読会に参加していたかは不詳ですが、「松の屋敷」から松坡先生の材木座の自宅まで足繁く通い、講読会の折には松坡先生と親しく言葉を交わすこともあったでしょう。洋画家・文章家の生馬と教育家・漢詩人の松坡先生はどんな話をしたのでしょうか。



有島生馬『海村』帙と上巻の標題紙



第41回

映画と本と図書館と

『マイ・ニューヨーク・ダイアリー』（原題：My Salinger Year）
（2020年カナダ制作／監督：フィリップ・ファラルドー）
モンダレー・メディア/ビターズ・エンド配給（日本公開 2022年）

「かまくら銀幕上映会」ナビゲーター 田邊恵美

『新年快樂』今年は新たな良い事が沢山ありますように！
さて、昨年11月に『かまくら銀幕上映会』でも取り上げた本作。

サルインジャー代表作の『ライ麦畑でつかまえて』は日本でも1952年（昭和27年）から出版され、2003年村上春樹翻訳版も大きな話題に。初出70年以上経った今も世界的な“青春のバイブル”。

しかしヒロインはそれを読んだ事も無かったのに、サルインジャーの出版エージェンツで職を得ます。映画のようですが、実話に基づいています。

映画は文字では表現されない背景、ディテールも映り込むので、1990年代のシックなNYの出版業界のオフィス、ファッションなど要注目。そして時代はiMacが世に出る直前。このボスはPC嫌いですが、今は世界中電子入稿でしょうね。

短期間だけ存在したワープロ単機能機を経てPCで文章を作るのが当たり前の今、手書きあるいはタイプライターで制作された文章との違いはどのようにあるのでしょうか？私のように600文字だけ書く時は、本当にこのワープロソフトは助かります。書いて翌日にまたちょっと直したり、が簡単に出来ます。

フランスでは子供がノートを取るのに鉛筆消しゴムではなくボールペンを使う事で、正解に至る経過を『無かった事にしない』のだそうです。私もWordの変更履歴記録ツールを使ってみるとするか…

等々あれこれと、映画を見ながら頭のすみっこで考えておりました。
本年もどうぞ宜しくお願い致します！

かまくら銀幕上映会のお知らせ（主催：ドリーム・アーツ（03-5969-8081） 於：鎌倉芸術館小ホール

1/26（木）『オードリー・ヘプバーン』 2/14（火）『エリザベス 女王陛下の微笑み』

2/27（月）『長崎の郵便配達』 3/13（月）『ベイビー・ブローカー』

3/22（水）『異動辞令は音楽隊！』

◎前売り券：1000円（当日券：1300円） ◎上映時間①11:00～ ②14:00～

☆上映スケジュールの確認は、鎌倉芸術館（0467-48-5500）へお問い合わせください。

☆受付で「田邊さんから聞いた」とおっしゃっていただければ、前売り料金でご覧いただけます。



お知らせ

本誌に「松坡先生をめぐる人々」をご執筆くださっている袴田潤一さんによる松坡文庫研究会講演会「田辺新之助の生涯 教育者・漢詩人・家庭人」が2月8日中央図書館にて行われます。詳しくは鎌倉市図書館HPをご覧ください。

図書館HPでは、この他にもファンタスティック☆ライブラリーのお知らせ、2月に開催予定の写真展のお知らせなど、図書館に関連する様々な情報をご覧になれます。

鎌倉市図書館HP <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/>



図書館まつり ファンタスティック☆ライブラリー111



今年も図書館と市民団体との協働事業
「ファンタスティック☆ライブラリー」が開催されます！！

3年ぶりに顔を合わせての開催。子どもから大人まで、申し込み不要・無料で参加できます。
日時：2月4日(土)11時～16時 会場：深沢学習センター3階ホールほか
展示されたパネルは、終了後各地域館を巡回するほか、
図書館のHPからインターネット配信でご覧いただく予定です。

・・・ プログラム ・・・

かまくら女性史の会 かまくらの保育Ⅱ 昭和の初めから敗戦まで（1926年～1945年）今に続く幼稚園はもとより潤光学園幼稚園、大慈幼稚園など現存しない幼稚園も紹介。朗読タイム2回。
おはなしひろば 「バリアフリーって、なあに？」をテーマにパネル展示と絵本・紙芝居の紹介。
おはなし会2回。（11時と14時各30分）布絵本、大活字本なども展示。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会 「旧図書館修復なる！改めて間島弟彦・間島愛子夫妻に学ぶ」展示。

松坡文庫研究会 田辺松坡題・大橋観籟画『鎌倉風景拾二帖』をよむ。ギャラリートーク2回。

図書館 ①玉縄の紙芝居：玉縄図書館が制作協力の紙芝居とむかしばなしのパネル展示。実演3回。
②ご当地ボードゲーム：カマクラコレクション、「鎌倉かるた」などを参加者同士で楽しむ。
③写真展案内：春に発行予定の写真集ときらら鎌倉で2月22日から開催の写真展にちなみ、深沢地区の懐かしい写真を中心に展示。

TOTOMOと鎌倉市身体障害者福祉協会とのコラボ企画

「読むことが億劫になっていませんか？」をテーマに同じフロアの別室にて、拡大読書器やマルチメディアデジターなどの読書機器の体験会。点字の体験会。視覚障害者の誘導体験会。

・・・第3回 ファンタスティック☆ライブラリー111 実行委員会報告・・・

2022年12月15日（木）於：中央図書館多目的室

第3回ファンタスティック☆ライブラリー111 実行委員会が、12月15日（木）14：00～15：30に三団体4名と図書館員4名の合計8名の参加で行われました。

開催内容については、上記のプログラムのご案内のとおりです。広報については、広報かまくら2月号に掲載のほか、鎌倉朝日、タウンニュースへ掲載を依頼。ほかにFMラジオやTOTOMOの会報、チラシ、図書館HPなどでお知らせします。また、当日のホールへの誘導やタイムスケジュール、展示場所の確定、アンケートなどについて話し合いました。

次回の実行委員会は、3月9日（木）14：00～15：30 中央図書館多目的室にて。

TOTOMOからは、阿曾（松坡文庫研究会兼務）、松本、杉崎が参加しました。（杉崎敦子）

今年度も「図書館振興基金」へ寄付をしました

12月7日、TOTOMOは栗原中央図書館長へ「図書館振興基金」10,000円をお届けしました。

鎌倉市図書館100周年の2011年に制定された「鎌倉市図書館振興基金」。TOTOMOでは、翌年2012年より、毎年10,000円を、2017年にはNPOフェスティバルでの古本市の売り上げから25,000円を寄付しています。総額は135,000円になりました。今後も、図書館振興基金の行方を見守りながら、ささやかではありますが寄付を続けていきたいと思ひます。

図書館振興基金 <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/fund.html>

2022 年度 会員総会のお知らせ

日時：2023 年 1 月 29 日（日） 10：00～12：00

場所：中央図書館 3F 多目的室

○午後には、図書館の障害者サービス担当の司書さんを講師に迎えて学習会を行います。ぜひご参加下さい

学習会：『鎌倉市図書館の障害者サービスについて』

日 時：13：30～15：00

学習会に関するお問い合わせは鎌倉市中央図書館Tel.0467-25-2611へ

メールお問い合わせは右 QR コードからも受け付けています。→



※なお、今後の感染状況等により、日程の変更もしくは開催方法が変更になる可能性があります。変更になりました場合は、再度ご案内いたします。



◎年会費納入と会員拡大のご協力のお願い◎

「図書館とともだち・鎌倉（通称 TOTOMO）」は、会員の皆様の会費によって運営されています。本年も「図書館とともだち・鎌倉」の活動が充実したものとなりますよう、会費の納入をお願いいたします。

TOTOMO では随時会員を募集しています。図書館を愛する方、興味をお持ちの方、図書館を応援したい方——多くの方のご参加をお待ちしています。

23 年度会費（1～12 月分）一口 1,000 円

ゆうちょ銀行振替口座番号 00230-5-16611

ゆうちょ銀行振替口座名 図書館とともだち・鎌倉



2022 年度 ご寄付くださった方々

☆2022 年度も多くの方にご寄付をいただきました。ここにご報告し、心よりお礼申し上げます。

関根肇・石原裕子・大山文子・福田曜子・星美由紀・松本陽子・曾原糸子・五十嵐廣雄・赤塚啓子・鈴木保美・福富昭江・城地マサ枝・石橋由紀子・津村留美・高柴圭子・三浦邦雄・大貫玲子・木村みどり・岩澤博・吉田皓二・山下すみ子・高橋円・大木禮子・渡邊久美子・福嶋眞知子・阿部光世・水岡やす子・黒瀬聖子・内海恒雄・木村ゆき・磯野・えんじゅの会・その他匿名の方々。

（ご寄付いただいた順、敬称略）



TOTOMO活動日誌 (12/1～1/18)

12/6～12 地下道ギャラリー一展参加	12/15 ファンタスティック☆ライブ-実行委員会出席
12/7 図書館振興基金への寄付	12/18 嶋田学氏講演会参加
12/7 間島弟彦・間島愛子夫妻旌徳の会	12/23 読書会
12/10, 11 NPO フェスティバルきらら鎌倉参加	12/28 会計監査
12/13 協働事業推進部会出席	1/6 玉縄図書館むかしばなし大会参加
12/15 おはなしひろくせん勉強会	ロビー活動 随時
12/15 ボランティア連絡協議会委員会・研修会出席	定例会 5 回（12/7, 14, 21, 1/11, 18）

TOTOMO

COMING NEXT! 事務局からのお知らせ



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

第25回 2022年度会員総会

日 時：1月29日（日）10時～12時 場 所：鎌倉市中央図書館3階多目的室
今までの活動を振り返り、今後の活動につなげるために今年度も会員総会を行います。
詳しいご案内は、添付の総会資料をご覧ください。
午後には、バリアフリーに関する学習会を行います。（詳細はP11の総会のお知らせへ）
お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。

おはなしひこうせん勉強会

日 時：1月19日（木）10時～12時 場 所：福祉センターにて
テーマ：ファンタスティック☆ライブラリーでのおはなし会の準備をします。
※2月の勉強会はお休みにします。次は3月16日（木）10時～福祉センターで行います。
お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。

読書会

日 時：2月24日（金）11時～12時半 場 所：NPOセンター鎌倉にて
テーマ本：向田邦子著/向田和子編『向田邦子ベスト・エッセイ』（ちくま文庫）と
大下一真著『鎌倉 花和尚独語』（冬花社）です。
お問い合わせは、杉崎（TEL/FAX 0467-41-4956）まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

日 時：2月1日（水）13時半～16時半 場 所：NPOセンター鎌倉にて
お問い合わせは、鈴木（TEL 090-4728-5242）まで。

ファンタスティック☆ライブラリー111

日 時：2月4日（土）11時～16時 場 所：深沢学習センター3階ホールにて
図書館を中心にかまくら女性史の会、松坡文庫研究会、TOTOMO（おはなしひこうせん、
間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会）がパネル展示やギャラリートークなどを行います。
TOTOMOでは、別室で鎌倉市身体障害者福祉協会とのコラボ企画を行います。
詳細は、P10のご案内及び添付のチラシをご覧ください。皆様のご参加お待ちしております！！
終了後、パネルは各館を巡回するほか、インターネットでの配信も予定しています。
お問い合わせは、市内各図書館まで。

※上記の各会については、COVID-19感染の状況により、変更になる可能性があります。
参加される方はTOTOMOのHPやFBでご確認いただくか、お問い合わせください。

☆図書館友の会全国連絡会

図友連ツタヤ図書館プロジェクトメンバーが取組んできた冊子『ツタヤ図書館の10年』が間もなく刊行の予定。お問い合わせは、阿曾（TEL/FAX：0467-45-5731）まで。



編集後記 * * * * *

☆鎌倉はお天気に恵まれ穏やかなお正月でした。コロナやウクライナ侵攻が終わって、穏やかで平和な一年になるといいですね。今年もよろしくお願いいたします。（A.S）
☆2023年こそはと願う人々の気持ちをよそに、コロナに気を揉む3度目の新春を迎えました。この3年間外出を控える中、読書量が増えたことだけが慰めでしょうか。（M.S）

題字・巻末カット：小島寅雄

図書館とともだち・鎌倉（代表：和田安弘）

事務局：〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-14-34（黒瀬）TEL/FAX 0467-22-8545

HP：<http://totomo.sakura.ne.jp> E-mail：toshokantomodachi@gmail.com

2023年1月18日発行

編集：阿曾・黒瀬・杉崎・斉木

